

彼らの「問い・考え」に、『諸般の事情により』は理由になりません。
『組織の論理』も理由になりません。
「ローコンテクスト文化」の人は『場の雰囲気』を読むことも、『過去の歴史』や『慣例』などに
何の価値も見出そうとしません。

私たちからすると、まるで「子供のわがまま」のようでも、相手は《真剣》です。
真剣な相手に、決定者・責任者が分らない役所の『たらい回し』と同じような対応をしても相手は納得できません。
あやふやな返事も、NOの返事も、その「決定者・責任者」が見えなければ、さらに自己の主張を理解させようと、
より真剣に「体当たり」してきます。

その姿に、私たち日本人は、辟易し、嫌気がさしてしまうのが一般的です。

さて、それではどのようにしたらよいのでしょうか。

真剣に対峙するしかありません。
そのためには、どんなに非常識な考えに見えても、まずは相手の考えを理解する努力が必要です。

そして、口頭では相手の考えが断片的にしかわからないので、相手に必ず5W1Hで「レポート」にして
書かせてください。

そして、少しでも理があると思ったら、完全否定するのではなく、その可能性を共に真剣に探究することです。
そして、時間を掛けてその方向に進む努力を約束することが大切です。

さらに相手は会社の事情などお構いなしですから、様々な障壁(予算、人員、時間、他)があるのなら、
それを相手がわかりやすく説明することです。

また、全く理がないと思ったら、これも拒否するのではなく、「理がないと思う理由」を相手に真剣に
伝えることです。

少なくとも、高等教育を学び、努力し、やる気と希望を持っている人財です。
暴れ馬のように見えても、使いこなすことさえできれば、戦場で一番槍を立てることができる可能性を
秘めています。

その潜在能力をいかに引き出すことができるか、そのための試練だと思い、コミュニケーション力を
高めてください。

トラブルを抱えている日本企業の皆さんには、今が、多様性の洗礼を受ける時期だと思って欲しいと思います。

2 | 勉強会・セミナー等のご案内 [事前申し込み要]

(1)《globalforce circle セミナー》のご案内

次回の第18回勉強会は、2019.10.24(木) 14:00～16:00 を予定しております。
主題については、9月頃ご案内いたしますので、予定の確保をお願いいたします。

また現在、異文化コミュニケーション研究所では、外国人とのコミュニケーションが向上するプラクティカルな
セミナーを検討しております。
詳細が決まりましたら、別途ご連絡をいたしますので、楽しみにお待ちください。

(2)《neoGET TOGETHER》のご案内

日本で働く意志とやる気のある《優秀な》留学生と、ガチでコミュニケーションが取れる就活・採用イベント
《neoGET TOGETHER》は、毎回企業さまにも、留学生たちからも好評を頂いております。

- えて行かなければなりません。当研究所は、採用から活用に至るまで
- 企業のチャレンジをお手伝い致します。

※本メールは、当研究所関係者と名刺交換をさせて頂いた方、
セミナー等にご参加頂いた方々等、ご縁を頂いた方々にお送り
致しております。

尚、このメールが不要な場合は、大変お手数ですが下記 URL を
クリック下さい。

<http://regist.combmail.jp/d/7dts&m=maeda@figurenet.com>

いつもありがとうございます。

┌┌┌┌ 異文化コミュニケーション研究所(R) (iCCC)
┌┌┌┌ <http://www.globalforce.link>
┌┌┌ 横浜市神奈川区青木町 3-15 SSビル 201 号室
┌┌ Tel:045-307-8248(代) FAX:045-461-1577
┌ 代表取締役社長 所長 島崎ふみひこ

(当研究所は、株式会社フィギュアネットの事業部です。)